

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	川が近いこともあり、水害時における避難方法について、具体的な計画を策定し訓練に結び付ける。	地域の方々の協力、参加を得られる形での災害時避難訓練を実施する。	火災に対する避難訓練は消防署の協力のもと、年2回の実施ができていますので、その中に水害だけでなく地震などの災害を含めた訓練を実施する。その上で地域への協力の要請をしていく。	18 か月
2	33	重度化や、終末期への対応に関し、入居時の説明のみならず、家族との信頼関係を構築しつつ、繰り返しの話し合いから体制作りをしていくことが大切。	利用者本人や家族の意向等を、繰り返しの面談の中でその都度確認し、施設としての体制を作り上げていく。	少しずつ重度化の傾向が出てきておられる利用者があり、家族、医療との連携を密にとりながら、その都度話し合い、方向を見つけていく。それを書面に残すことでその方向を形あるものに作り上げていく。	24 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。